

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 15 日

Table with columns for project name, policy system position, budget items, and financial classification. Includes details for 'Old Long-term Residential Management Business' and 'Cultural Heritage Preservation & Utilization'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table (1) Summary of Business Activities. Includes sections for 'Overview of Business Activities' and 'Business Objectives, Targets, and Indicators'.

Table (2) Business Objectives, Targets, and Indicators. Contains multiple rows for activity indicators (e.g., loan volume), target indicators (e.g., facility users), and result indicators (e.g., loan days).

Table (3) Trend of Input (Business Expenses). Shows financial data for 29th, 30th, and 01st years, including source of funds and personnel.

Table (4) Business Expenses. Compares actual expenses for 30th year and budget for 01st year, categorized by expense type like 'Required Expenses' and 'Usage Fees'.

Table (4) Implementation of Business Activities. Details the implementation content for 01st, 02nd, and 03rd years, with a list of key activities like 'City Manifesto' and 'Future PJ Business'.

事務事業名	旧高久家住宅の管理運営事業	事務事業No.	20502000914	所属課	都市整備課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成23年度に旧高久家住宅を公有化したため。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	常時開放して欲しい。桜川市の物産などを紹介する場所にして欲しい。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	指定管理を含め、自立した活動のできる一定規模の民間団体が成長すると、活用の幅が広がる。
改革改善を行う	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	重要伝統的建造物群保存地区内にある地域活性化を目的とした施設となるため
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	重要伝統的建造物群保存地区の今後の地域活性化を担う施設であるため
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	将来は、維持管理費の削減のために指定管理者制度を導入すれば向上の余地はある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	重要伝統的建造物群保存地区の中でも中心地であって、今後の地域活性化を担う施設であり、休廃止により常時戸締りとなる空家が増加し、活性化の妨げとなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	具体的な手段、事務事業名 指定管理者制度の導入
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	現在の事業費はほぼ義務的経費となっており、活性化には業務時間、事業費ともに増加させる必要がある。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	利用制限を設けておらず、費用も光熱水費と土地借上料に相当する分としている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	柔軟な利用受付に対応し、民間の利用回数が増加した。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 まちづくりや観光を推進する部署との協議を活性化させる。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> </table>	成果	向上				維持				低下						コスト					削減	維持	増加
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果 ③																								
コスト削減優先度評価結果 -																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A:継続（現状維持） C:終了、廃止、休止 B:継続（改革改善を行う） D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>